



2023年 12月号(2)
小学校総合選修 広報誌

作成:小方(2年)、吉岡(2年)

こんにちは、小学校総合選修広報係です。もうすぐ冬休みですね！月日が立つのは早いですね。突然急激に寒くなりました。山口市はすでに雪が積もっています(12/22 現在)。作成者 A は鼻水が止まらずつらいです。体調にはくれぐれもお気を付けください。さて、本号では、12月16日におこなわれた「クリスマス会」の様子をお伝えします。

クリスマス会

2023年12月16日(土)に、山口大学共通1、2番教室にてクリスマス会を実施しました。

クリスマス会では、4つのワークショップブースと体験型劇のブースを1つ用意し、市内の小学生41名を迎えて体験していただきました。ワークショップブースは、クリスマスリース、スノードーム、クリスマスケーキ、クリスマス風ストラップのブースを用意し、クリスマスを感じられるような創作を楽しんでもらえるように準備しました。体験型劇は「サンタクロースのひみつ」と題し、子どもたちに劇の途中に参加してもらう特異な劇を披露しました(内容は魅力的過ぎて話すと長くなるので割愛させていただきます。)

クリスマス会を開催するにあたり、例年とは異なる点がありました。それは、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで定員が増加した点です。より多くの子どもたちにクリスマス会に参加してもらえることが何より嬉しかったです。しかし、人数が増えるということは各ブースで多くの子どもたちの対応をしなければならないということでもありました。総括、各ブースの手腕が試されるクリスマス会となりました。

モールなどを編み込んでクリスマス風のストラップを作成しました。編み込みの方法で模様が変わるので、様々に飾り付けることができます。



スノードーム

瓶に洗濯のりと水で作成した溶媒にミニチュアのサンタクロースを沈め、ラメなどを浮かべてスノードームを作りました。瓶を傾けることで中の様子がゆるやかに変化する様子を楽しみます。



クリスマス風ストラップ

クリスマス会は大盛況で、たくさんの子どもたちの笑顔で教室が満たされました。体験型劇に登場したサンタクロースとブラックサンタ、ブラックサンタの手下は子どもたちから大人気で、クリスマス会終了後も子どもたちで人だかりができていました！

クリスマス会が終わり、帰る際に子どもたちが「また来年もぜったいしてね」や「来年もやる？」と声をかけてくれて、クリスマス会を企画して、そして成功させることができ本当に良かったと感じました。保護者の方々を対象にしたクリスマス会のアンケートにも「子どもたちがとても楽しんでた」という感想をたくさん書いてくださっており、大変うれしく思います。

ここで、クリスマス会をおこなってみての感想、印象をクリスマス会総括の小方陽介君に伺いました。

Q.率直なクリスマス会の感想を教えてください。

A.すごく楽しかったです。準備は数多くの壁にぶつかっていろいろ悩むことがありましたが、みなさんの支えのおかげでクリスマス会を成功させることができました。

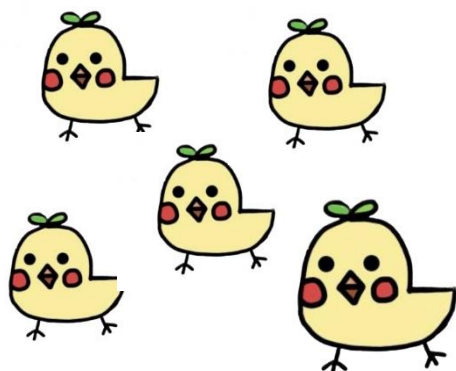
Q.一番大変だったことはなんですか？

A.ブースで必要な物品の発注が大変でした。欠品があったり、リストに誤りがあったりなど苦労することがたくさんありました。総括、ブースリーダーで綿密に連絡をとってなんとか発注をすることができました。実際の発注に関する事務作業は、担任の青山先生にいただきました。

Q.来年のクリスマス会総括に一言お願いします。

A.来年はもっと定員を増やして、多くの子どもたちに楽しんでもらえるように頑張ってください！

今年のクリスマス会は大成功に終わりました。来年のより進化したクリスマス会に乞うご期待です！



劇ブース



クリスマスケーキ

クリスマスケーキに見立てた飾りで、アルミ缶の周囲にホイップねんどを塗り、好きなビーズなどのアクセサリとリボン缶の上に載せ、ドライヤーで乾かして完成させます。



クリスマスリース

毛糸を編み込んでクリスマスリースを作成しました。コンパクトなサイズにしているので、家などの様々な場所に気軽に飾ることができます。

山口大学教育学部小学校総合選修

<https://www.yamaquchi-u.ac.jp>

